

研修旅行など事業計画承認

宮本さん 講演会も 豊橋美博友の会が総会

豊橋市美術博物館友の会(宮田正人会長、会員410人)は16日、同美術博物館で2015年度総会を開いた。会員約40人が出席し、事業計画や34.6万余円の収支予算案など承認後、西洋美術史家・宮本昭義さん(豊川市在住)による記念講演「印象派を超えた画家たち」も催された。

金子尚央・同市教育部次長があいさつして開会。昨年度事業として春秋の研修旅行ほか、講演会やロビーコンサート、児童対象イベントなど開いたことが報告された。今年度はまず6月1日に、春の研修旅行「箱根・岡田美術館とトリック美術館を訪ねて」を催す旨の紹介があった。

予算案については

今回、会員から「収入が会費のみでまかなわれているが、補助金等は考えていないか」との質問が出た。これに対し宮田会長は、「会員全員で美術博物館をサポートすることが友の会の目的。補助金に頼らず、正会員や賛助会員らの会費で運営していきたい」と答えた。

【美術博物館】岡本太郎と中村正義



宮本昭義さん＝豊橋市美術博物館で「ゴッホの世界を解説する」

【二川宿本陣資料館】東「貝」道五十七次展(7月18日～8月30日)▽本陣に泊まった大名II(10月3日～11月15日)▽忠臣蔵浮世絵展(12月5日～1月17日)。(藤田彰彦)

豊橋市美博友の会総会と記念講演会

興味深くゴッホの話聞く



ゴッホについて解説する宮本昭義氏（豊橋市美術博物館で）

豊橋市美術博物館
友の会（宮田正人会

長）は16日、同館講
義室で2015年度

総会と記念講演会を
開いた。

総会では、14年度
決算や、15年度の事
業計画・予算案が承
認された。事業報告
では、ロビーコンサ
ートや児童を対象と
した普及イベントな
どを紹介した。

宮田会長と来賓の
金子尚央豊橋市教育
部次長のあいさつの
あと、今後の同会の
運営について、「収
支予算が会費だけに
なっているが、補助
金などは考えていな
いのか」との質問に
「会員の力で美術博
物館をサポートする
ことを目的にしてお
り、今後も補助金に
頼ることなく進めて
いく」と、会員や賛
助会員などの会費で
運営することを確認
した。

15年度1回目の講

演会が行われ、西洋
美術史研究家でNH
K文化センター名古
屋教室講師の宮本昭
義さんが「印象派を
超えた画家たち」を
テーマに講演。オラ
ンダ出身でポスト印
象派画家のゴッホに
ついて「教会や神が
太陽として描かれる
など、モチーフの置
き換えを行っていた
ことや、印象派の画
家とは異なり、自己
の内面や情念を表現
した人間の魂の世界
を表現している」と
解説。参加者は、ゴ
ーギャンやセザン
ヌと並ぶポスト印
象派を代表する表
現主義のパイオニ
ア画家としてのゴ
ッホの話に興味深
く聞いた。

（佐藤勝美）